

【ごあいさつ】

今、長引く不況、若者の雇用情勢の悪化など、内外ともに難問が山積する中、これらの閉塞感を打ち破り、市民の皆さまの暮らしを守るため、将来を見据えた市民のための施策を押し進めていかなければなりません。

中でも、10回目を数える「市議会報告会」では本会議の議決内容や市の課題を報告。参加された皆さんから「市の財政がよくわかった。」等、大変に好評です。

この市民の皆さまとのふれあいを大切にしながら、河内長野公明党は、どこまでも「現場第一主義」をモットーに、お一人おひとりの声に耳を傾け、暮らしに最も身近な党として、魅力あるまち河内長野市を構築するために頑張っております。

今後とも、よろしくお願い申し上げます。



大原いちょう
市議会議員・党南河内支部連合会委員長



三島かつのり
市議会議員
党河内長野支部長



中村たかこ
党河内長野副支部長



浦山のぶゆき
党河内長野副支部長

みなさまのお声がかたちとなりました！

子ども医療費（通院）助成が今年4月から小6までに！

公明党は、「安心の子育て」の観点から、助成対象（現行小学校3年生まで）の拡大を訴えてまいりました。平成25年9月の議会質問で市長から「来年度から、子ども医療費通院助成を小学校6年生まで引き上げ、引き続き、中学校3年生までの実現を目指す。」との答弁をいただき、拡大が実現することになりました。



引き続き、中学校3年生までの引き上げを目指します。(問い合わせ☎53-1111 保険年金課)

妊婦健康診査 11万6,840円に！

安全な出産のためには、14回程度の受診が望ましいとされています。

公明党は様々な形で妊婦健診の無料化を訴えてきましたが、平成25年度より、14回の標準的な妊婦健診費用がすべて公費助成されることになりました。

(内容 14回 70,000円→116,840円に拡充)(問い合わせ☎55-0416 健康推進課)



3ワクチンの定期接種

子宮頸がん・乳幼児の細菌性髄膜炎を予防するヒブ、小児用肺炎球菌予防ワクチンが平成25年4月から予防接種法に基づく定期接種に。公明党が国と地方のネットワークの力で強力に推進したものです。(問い合わせ☎55-0416 健康推進課)



高齢者用 肺炎球菌ワクチン

70歳以上の高齢者に、一回につき7～8千円の自己負担のうち、3千円の助成が実施されるようになりました。一回の接種で約5年間有効です。(問い合わせ☎55-0416 健康推進課)

放課後児童会が今年4月から小5まで延長！

保護者皆さんの強い要望を受け、放課後児童会の学年延長に取り組んでまいりました。平成 25 年 10 月に「放課後児童会運営審議会」で、来年度から対象学年を5年生に拡大することが承認されました。

「放課後子ども教室」も来年度に三日市小学校・長野小学校での実施が決定し、すべての小学校で放課後子ども教室が実施されることになりました。

私たちは、保護者の就労に関係なく、全児童が学校などで放課後を安全に過ごすことができるような仕組み作りに尽力してまいります。

(問い合わせ☎54-0005 青少年育成課)



通学路の安全

亀岡市の集団登校中の事故を受け、平成 24 年 5 月 23 日、私たちは市長と教育長に「通学路安全対策についての緊急提言」を行い「関係者が一堂に会し、子どもの視点で、通学路を総点検すること」などを申し入れました。その年の 8 月に PTA、教職員、警察、府・市の道路担当者が一緒に通学路の点検を行い、順次対策がなされています。

国でも公明党の主張が反映され、通学路の安全対策費用が確保されています。

(問い合わせ☎53-1111 教育総務課)



平成 24 年 5 月 23 日
通学路の安全対策緊急提言をしました。



市民後見人

「市民後見人」とは、判断力が不十分になった高齢者をサポートする「成年後見人」を弁護士などの専門職だけに任せるのではなく登録を行った市民が家庭裁判所から選任を受けて無償で行うものです。

私たちは、高齢社会に向け「広く市民に後見人の資格を取ってもらうこと」を要望していますが、まずはその講座を開くことから実施されるようになりました。(問い合わせ☎53-1111 生活福祉課)

ピロリ菌保険適用… 胃がんの予防が大きく前進

胃がんの最大の原因であるピロリ菌の感染による慢性胃炎等についての除菌が、国での公明党の努力が実現し、平成 25 年 2 月 21 日から、保険適用となりました。

今後、私たちは、健診段階でのピロリ菌除菌に力を入れたいと思っています。

(問い合わせ☎55-0416 健康推進課)



学校の耐震化…来年度すべての小中学校に

東日本大震災を受けて、避難所としての学校の在り方が問われています。私たちは住民と共に市内すべての小中学校で平成 23 年 10 月に『学校防災拠点総点検』を実施しました。

公明党が与党になり、防災・減災に対する予算が確保され、本市でも防災対策が進んでいます。学校の耐震化も来年度にはすべての小中学校で終わる予定です。次は「非構造部材」(天井や壁など)の耐震化に取り組んでいきます。

(問い合わせ☎53-1111 教育総務課)

中学校給食

「家庭からのお弁当は大切。しかしお弁当を持ってくることができない中学生がパンばかりではいけない。何らかの対策が必要だ。」という一貫した私たちの主張が実り、本市では「選択制の中学校給食」が、平成 23 年度は東中、平成 24 年度は西・加賀田・南花台中とはじまり、来年度には 7 中学校すべてで実施される予定です。

(問い合わせ☎53-1111 学校教育課)



障がい者就労支援

障がいがある人の社会参加は地域全体で支える必要があります。私たちは「市役所の元食堂を障がい者の就労支援の場にしたい。」というお声を頂き、食堂の機能を持つ障がい者就労施設として実現させることができました。
(問い合わせ☎53-1111 障がい福祉課)



障がい児の進路相談

今までわかりにくかった、障がいがある小中学生の進路相談窓口を明確にしました。そこでは、学習面、健康面、生活面の相談もできます。
(問い合わせ☎53-1111 学校教育課)

事業仕分け

「市民を交えた目に見える事業仕分けをするべきだ。」と私たちは訴えてきましたが、平成23年度より実現されています。結果はホームページで公表され、次年度予算に反映されています。
(問い合わせ☎53-1111 行政改革課)



大阪一の情報教育

私たちは情報教育に力を入れています。現在、市内のすべての小・中学校がインターネットで結ばれベトナムやアメリカなど世界各国と交流授業を展開しています。また、これらの技術を生かして、今後は、ネットいじめの対策にも取り組んでいきます。
(問い合わせ☎53-1111 教育総務課)

デイジー教科書

デイジー教科書は読むことが困難な子ども達に対し、様々な工夫で文字の習得を容易にするためのものです。すべての小・中学校に配置されました。私たちはその必要性を訴えてきましたが、今後は更なる活用を求めています。

キックスの図書館には**デイジー図書**が配置されています。高齢者や障がいがある人たちの読書の助けとなり、大変喜ばれています。
(問い合わせ☎53-1111 学校教育課)



デイジー教科書のシステム

防災無線の充実

今まで親局から一方通行だった無線がデジタル化され、子局からの連絡も可能となりました。設置箇所も32カ所から47カ所へと市内全域に拡大されます。
(問い合わせ☎53-1111 危機管理室)



コミュニティ・カレッジ (市民大学)

「市民のための市民大学講座が必須だ。」と訴えていたものが、芝田市長が就任し、「くろまる塾」として結実しました。このことにより市民の生きがいづくりが広がっています。

(問い合わせ☎53-1111 生涯学習課)



駅にエレベーター

交通バリアフリー法(国で公明党が推進)に基づき、三日市町駅から始まって河内長野駅・美加の台駅・千代田駅にエレベーターが設置されました。高齢者や車いすの人、お子様連れの人たちに大変喜ばれています。

(問い合わせ☎53-1111 交通政策課)